



Windows8を操作するのに欠かせない、基本的な用語を集めました。わからない用語が出てきたら参照してください。

ア行

アイコン

ファイルやフォルダー、アプリなどの内容を示す小さなマーク(図柄)のこと。画面上のアイコンをクリックすることにより、さまざまな機能を実行できます。

アカウント

Windows8やインターネット上のサービスを利用する権利、または利用するために必要な名前のこと。「ユーザーアカウント」ともいいます。多くの場合、アカウントにはパスワードが関連付けられており、アカウントとパスワードを入力することによって、利用できるようになります。

圧縮

ファイルの容量を小さくする処理のこと。Windows8の圧縮機能では、「zip」(ジップ)と呼ばれる方式で圧縮しています。圧縮されたファイルを元の状態に戻すことを「解凍」や「展開」などといいます。

アップグレード

新しいバージョンのアプリを導入すること。「バージョンアップ」ともいいます。「バージョン」とは「版」のこと、アプリで仕様の変更が入るたびに新しい管理番号が付加されます。一般的にバージョンが新しいほど機能が優れ、不具合も少なくなります。なお、特に小規模なアップグレードを指して、「アップデート」と呼ぶこともあります。

アップロード

ダウンロードの項目を参照。

アドレス帳

メールの送信に使用するメールアドレスを管理する機能。氏名や勤務先などを登録することもできます。

アプリ

Windows8で何らかの作業をするためのプログラムの総称。従来のWindowsでは「ソフト」や「アプリケーション」と呼んでいたものです。Windows8では、Modern用のアプリのことを「Windowsストアアプリ」、デスクトップ用のアプリのことを「デスクトップアプリ」といいます。

アプリバー

アプリでよく実行する機能をまとめた横長のバー。画面内を右クリックするか、上端または下端からスワイ

プすると、画面の上部、または下部に表示されます。アプリバーの内容は、使用しているアプリや選択している項目によって変化します。なお、デスクトップアプリでは表示されません。

暗号化

他人にその内容を見られないように、データにプロテクト(保護)をかけること。暗号化したデータを元の状態に戻すことを「復号化」といいます。

一時ファイル

よく利用するデータを一時的に保存するためのファイル。同じデータを利用する際に、高速な読み込みが可能になります。

インストーラー

アプリのインストールを簡単にするために、ウィザード形式で様々な設定を行うプログラムのこと。「セットアッププログラム」ともいいます。

インストール

アプリをWindows8に組み込み、使用できる状態にする作業のこと。インストールしたアプリを削除することを「アンインストール」、インストールをやり直すことを「再インストール」といいます。

ウィザード

画面の質問に答えながら操作することで、さまざまな設定を簡単に行える機能のこと。

ウイルス

データの破壊や削除を行うなど、Windows8の動作を妨害する悪意あるプログラムのこと。インターネットやメールなどを介してWindows8に感染します。

ウイルス対策ソフト

ウイルスやスパイウェアといった、悪意のあるプログラムからWindows8を守るアプリです。それらの感染を防ぐだけでなく、個人情報の漏えいを防ぐ機能を搭載したものもあります。

ウィンドウ

デスクトップ上に表示される、デスクトップアプリの画面のこと。ウィンドウは、大きさを自由に変更したり、好きな場所に並べて表示することができます。現在作業を行っているウィンドウを「アクティブウィンドウ」といいます。

お気に入り

よく見るホームページのURLをブラウザーに記録する機能。「ブックマーク」ともいいます。お気に入りに登録しておくことで、見たいページをすぐに呼び出せるようになります。

カ行

カーソル

文字の入力位置を示すために点滅している記号。キーボードのキーを押すと、カーソルのある位置に文字が入力されます。

拡張子

ファイルの種類を識別するための文字列。「メモ.txt」(テキストファイル)や、「請求書.docx」(Wordファイル)のように、「ファイル名.拡張子」の形式で表示されます。

カスタマイズ

ユーザーの好みに合わせて、Windows8の設定を変更したり、アプリのインストールなどを行うこと。

起動

Windows8やアプリを使用可能な状態にすること。機器の電源を入れたり、スタート画面のタイルをクリックしてアプリの画面を呼び出すことを指します。

クリック

マウスの左ボタンを「カチッ」と1回押す操作のこと。ファイルやフォルダーを選択したり、ボタンを押したりする操作に使います。2回続けてクリックすることを「ダブルクリック」といい、ファイルやフォルダーを開いたりできます。

ごみ箱

不要になったファイルやフォルダーを一時的に保管する場所で、デスクトップ画面上にあります。ごみ箱の中にあるデータは、いつでも復元することができます。

サ行

サーバー

インターネットを通じて、パソコンなどにさまざまな機能やサービスを提供するコンピューター。

再起動

Windows8をいったん終了し、起動し直すこと。設定を変更したときや、新しい周辺機器のドライバーをインストールしたときは、再起動を促す画面が表示される場合があります。

サインイン

Windows8やインターネット上のサービスを利用するために、アカウントとパスワードを入力して、認証を行うこと。「ログイン」ともいいます。利用を終了することは、「サインアウト」や「ログアウト」といいます。

サムネイル

ファイルの内容を縮小表示した画像です。

シャットダウン

Windows8での作業をすべて終了して電源を切ること。シャットダウンを実行すると、Windows8からサインアウトして電源が切れます。

周辺機器

マウスやキーボード、プリンターなど、パソコンやタブレットに接続して使用する機器の総称です。

ショートカット

ファイルやフォルダー、アプリの分身です。ショートカットのアイコンの左下には、矢印マークがあります。例えば、フォルダーのショートカットをデスクトップに作っておくと、ショートカットをダブルクリックするだけで、本体のフォルダーが開きます。また、ショートカットは分身なので、削除しても本体に影響はありません。

ショートカットキー

キーボードのキーを押して特定の操作を行うこと。または、そのためのキーの組み合わせ。短時間で、効率良く操作できるのが特徴です。例えば、フォルダーからファイルを削除しても、CtrlキーとZキーを押すだけで、「ごみ箱」から元に戻すことができます。

スクロール

画面の表示内容を上下、または左右に移動する操作です。マウスのホイールを前後に動かすと、画面の隠れていた部分がスクロールされて表示されます。タッチ操作では、画面をスライドします。

スタート画面

Windows8にサインインすると最初に表示される画面です。よく使うアプリのタイルが並んでおり、タイルをクリックするとアプリが起動します。表示するタイルや並び順は、自由に変更できます。

スパイウェア

ホームページの閲覧履歴や個人情報などを、ユーザーに無断で外部に送信するプログラムのこと。

スライド

タッチ操作の一つ。画面に触れて上下、または左右に指を動かすことにより、画面をスクロールしたり、項目を移動したりできます。

スリープ

Windows8の操作を一時的に停止させ、省電力状態にして待機させること。作業状態が保持されるので、すぐに作業を再開できます。

スワイプ

タッチ操作の一つ。画面に触れて上下、または左右に指を動かすことにより、アプリバーやチャームを表示したり、項目を選択したりできます。スライドよりも指を動かす距離は短くなります。

外付けハードディスク

USBケーブルなどで接続するハードディスクドライブ。内蔵タイプに比べて値段は高いものの、接続が簡単で、持ち運びができるなどのメリットがあります。

タ行

タイル

スタート画面などに表示される四角のボタンのこと。クリックすると、アプリを起動したり、ホームページを表示したりできます。Modern用のアプリのタイルには、中央にイラストが表示されています。デスクトップアプリのタイルには、アプリのアイコンが表示されます。

ダウンロード

インターネット上のファイルを、自分のパソコンやタブレットにコピーすること。ホームページに表示されている「ダウンロード」などのボタンをクリックすることで、ファイルをダウンロードできます。ダウンロードとは逆に、自分のパソコンやタブレットからインターネットにファイルをコピーすることを「アップロード」といいます。

タスクバー

デスクトップの画面下部に表示される横長のバー。タスクバーには起動したデスクトップアプリのアイコンが表示され、アイコンをクリックすることでアプリのウィンドウを切り替えられます。また、タスクバーにピン留めすると、スタート画面に戻らずにデスクトップアプリを起動できます。

タスクマネージャー

使用中のアプリの状態や、Windows8の動作状況などを管理できるプログラムのこと。応答しなくなったアプリを強制的に終了する機能もあります。

タッチ操作

指先で画面に触れてWindows8を使う操作方法です。画面をなぞるだけで別のホームページに移動したり、

写真を拡大／縮小したりでき、マウスよりも直感的に扱えるのが特徴です。タッチ操作は、タッチ対応のディスプレイを備えた機種でのみ利用できます。

タッチキーボード

画面上に表示されるキーボードのこと。タッチキーボードのキーに触れることにより、文字や数字の入力、漢字変換などを行うことができます。

タップ

タッチ操作の一つ。項目を軽く叩くようにトンと触れると、アプリを起動したり、ファイルなどを選択できます。2回続けてタップすることを「ダブルタップ」といい、ファイルを開いたりできます。

タブレット

画面に触れて操作するタッチ対応ディスプレイを備えた、携帯用の小型パソコンのこと。

チャーム

画面右端に表示する縦長のバーのこと。チャームには「検索」「共有」「スタート」「デバイス」「設定」といった五つの項目があり、各項目をクリックすると、関連するWindows8の機能呼び出すことができます。チャームを表示するには、画面右上隅にポインターを合わせて下に移動するか、右端からスワイプします。

通信速度

Windows8とインターネットなどの間で、データを送受信するときの速度のこと。単位は「bps」(ビットパーセカンド)で、この値が大きいほど短時間で大量のデータを送受信することが可能です。1,000倍ごとに単位の前に付く文字が変わっていきます。1,000bpsで「1Kbps」(キロbps)、1,000Kbpsで「1Mbps」(メガbps)、1,000Mbpsで「1Gbps」(ギガbps)となります。

デスクトップ

従来のWindowsで使ってきたデスクトップアプリを利用するための画面。WordやExcelといった慣れ親しんだアプリを、今までと同じ操作で使うことができます。デスクトップを表示するには、スタート画面で「デスクトップ」やデスクトップアプリのタイルをクリックします。

添付ファイル

電子メールの本文と一緒に送信するファイルのこと。デジカメで撮影した写真、WordやExcelで作成した文書などを添付ファイルとして送ることができます。添付ファイルを送る際には、ファイルの容量に注意する必要があります。プロバイダーによって制限がかかっている場合が多いからです。

ドライバー

Windows8が周辺機器を制御するためのプログラム。

「デバイスドライバー」ともいいます。Windows8は代表的な周辺機器のドライバーを内蔵しているので、接続するだけですぐに使える機器がたくさんあります。ドライバーが内蔵されていない機器を使うときは、機器に同梱されているCDなどから、ドライバーをインストールします。

ドライブ

データを書き込んだり、読み出したりする装置のこと。ドライブの種類には「ハードディスクドライブ」や「BD／DVDドライブ」などがあります。それぞれデータの書き込み方法や保存できる容量が異なります。

ドラッグ&ドロップ

主にファイルやフォルダー、ウィンドウの移動に使います。場所を移動したい対象にマウスポインターを合わせ、マウスの左ボタンを押したままマウスを動かす(ドラッグ)と対象が移動し、ボタンから指を離す(ドロップ)と、位置が確定します。この一連の動作がドラッグ&ドロップです。

ナ行

長押し

タッチ操作の一つ。項目をタップして、半透明の四角が表示されてから指を離すと、実行可能な機能がメニュー形式で表示されます。

ネットワーク

パソコンやタブレット、周辺機器をケーブルや電波によって接続すること。家庭などの限られた範囲のネットワークを「LAN」(ラン)といいます。

ハ行

ハードディスクドライブ

データを保存する装置のこと。記憶できるデータ容量を「GB」(ギガバイト)や「TB」(テラバイト)という単位で表し、数値が大きいほどたくさんのデータを保存できます。

バックアップ

データのコピーを取って別の場所に保存すること。データや、Windows8そのものが壊れたりといった万が一のトラブルに備えます。

ピンチ

タッチ操作の一つ。二本の指で画面に触れ、指の間隔を狭めると画面が縮小表示されます。指の間隔を広げる操作を「ピンチアウト」といい、画面が拡大表示されます。

ピン留め

スタート画面やデスクトップのタスクバーに、特定のタイルやアイコンを固定表示する機能です。よく使うアプリやホームページをピン留めしておくと、すばやくアプリを起動したり、ホームページを開いたりできます。

ファイル

ワープロソフトで作った文書や、そのワープロソフトを動かすためのプログラムといった、「データのまとまり」のこと。フォルダーを除いた1アイコンが、それぞれ1ファイルと考えるとよいでしょう。

フォーマット

USBメモリやハードディスク、DVDなどに、データを保存できるようにする処理のこと。無地のノートに書き込み用の罫線を用意するような作業と考えてください。すでに利用中のUSBメモリやハードディスクをフォーマットすると、保存してあったデータは消えてしまいます。

フォルダー

ファイルを整理するための仮想的な箱のようなもの。フォルダーには自由に名前を付けることができます。また、フォルダーのなかにフォルダーを作成することで、ファイルを階層的に管理できます。

フォント

Windows8で利用する文字の書体のことです。「明朝体」や「ゴシック体」「ポップ体」など、多くの種類があり、用途に応じて使い分けことができます。

ブラウザ

ホームページを閲覧するためのアプリ。Windows8には、「Internet Explorer」というブラウザが、Modern、デスクトップ両方に標準で搭載されています。

プレビュー

完成イメージを事前に表示させる機能。実際に印刷をする前に、印刷結果を確認できる「印刷プレビュー」などがあります。

ブログ

作成するための特別な知識を必要とせず、文章や写真などが簡単に投稿できる日記形式のホームページ。ホームページを意味する「ウェブ」(Web)と、記録を意味する「ログ」(log)という二つの単語をつなげた「ウェブログ」が、短縮されて定着した言葉です。

プロバイダー

インターネット接続サービス事業者のこと。「ISP」(Internet Service Provider)ともいいます。現在は、インターネット接続サービスだけでなく、無線LAN機器の貸し出しや、インターネットを使ったテレビ配信、

迷惑メール対策など、さまざまなサービスを提供しています。なお、Windows8では、インターネットで検索サービスを提供する事業者を、「検索プロバイダー」と呼んでいます。混乱しないように、注意してください。

プロパティ

ファイルなどが持つ、基本的な情報や属性のこと。容量や更新日時、作成者の名前などがプロパティに含まれます。

ポインター

マウス操作に連動して画面上を移動するマークのこと。操作するファイルやウィンドウを指し示すためのものです。通常は矢印ですが、作業状態によって形が変化します。例えば、リンクを選んだときは指の形に変わります。「マウスカーソル」ともいいます。

ホームページ

ブラウザを起動すると同時に表示されるページのこと。よく見るページをホームページとして登録しておく、「ホーム」ボタンをクリックするだけで、いつでも表示することができます。また、一般的なWebサイトのことをホームページと呼ぶこともあります。

保存

作成した文書などをあとから利用したり、編集したりできるようにファイルとして残しておくこと。最初に保存するときは「名前を付けて保存」を行います。一度保存したファイルの名前をそのままに、中身だけを変更して保存するときは「上書き保存」を行います。



右クリック

ファイルやフォルダーなどからメニューを呼び出し、実行可能な機能を表示する操作で、マウスの右ボタンを押します。表示されるメニューのことを「右クリックメニュー」や「コンテキストメニュー」といいます。

無線LAN(ラン)

パソコンやタブレットを電波で接続するLAN(ネットワーク)。ケーブルで接続するLANを「有線LAN」といいます。LANで接続すると、ファイルなどを共有できます。

迷惑メール

何らかの方法で手に入れた電子メールアドレスに、営利またはいたずら目的で送られてくるメールのこと。「スパムメール」とも呼ばれます。

メールアカウント

メールサービスやプロバイダーなどのメールサーバーに接続する使用権のこと。メールアプリにメールアカ

ウントを設定することで、電子メールを送受信できるようになります。

メールアドレス

電子メールを送る際の宛先になるもの。手紙の場合の住所にあたります。通常、「〇〇〇@×××.ne.jp」の形式をとり、「〇〇〇」の部分には利用者任意の文字列が、「×××」にはプロバイダー名などが入ります。

メールサーバー

電子メールの処理を行うサーバーのこと。メールアプリから送信された電子メールは、このメールサーバーを経由して宛先に届けられます。

メモリ

データを一時的に保存する機器のこと。パソコンやタブレットに内蔵されています。パソコンやタブレットの電源を切ると、メモリ内の内容は消去されます。



容量

ファイルやフォルダーのデータ量のこと。または、ハードディスクやDVDに保存できるデータ量のことを指します。半角1文字分のデータ量を「1Byte」(バイト)という単位で表します。半角1,024文字分、つまり1,024Byteが「1KB」(キロバイト)、1,024KBで「1MB」(メガバイト)、1,024MBで「1GB」(ギガバイト)と単位が変わっていきます。



リンク

ホームページやメールの文字列、または、画像などに埋め込まれているほかのファイルの位置情報のこと。リンクがある部分をクリックすると、リンク先として指定されているページや画像を開くことができます。

アルファベット

BCC(ビーシーシー/ブラインド・カーボン・コピー)

複数の宛先に同じ内容のメールを同時送信するための機能。BCCに指定された宛先は、ほかの受信者には通知されません。誰に対してメールを送信したのかを知られたくない場合に利用します。

Blu-ray(ブルーレイ)

DVDの後継にあたる記録メディア。最大50GBものデータを保存できるため、容量が大きいハイビジョン映像の録画に適しています。データの書き替えや削除

ができないBD-Rや、書き替え・削除が可能なBD-REなどがあります。

BMP(ビットマップ)

画像を保存するファイルの形式の一つ。画像を劣化させることなく保存できる反面、容量が大きくなるのが特徴です。

CC(シーシー／カーボン・コピー)

複数の宛先にメールを同時送信する機能。本来の相手以外に同じ内容のメールを送信するときに利用します。CCに指定した宛先は、全受信者に通知されます。

CD(シーディ)

円盤状の記録メディア。データの書き込みはできても、書き換えや削除はできないCD-Rと、データの書き込みのほか、書き換えや削除が可能なCD-RWがあります。1枚の記録容量は650MBまたは700MBが主流です。

CPU(シーピーユー)

パソコンやタブレットの頭脳にあたる部品で、Windows8を動かすための処理を行います。高性能なCPUほど短時間で処理を終えられるため、待ち時間が少なく、快適にWindows8を使うことができます。

DVD(ディーブイディー)

円盤状の記録メディア。CDに比べて大容量のデータを記録できます。1枚の片面に4.7GBのデータを記録できるタイプや、両面に9.4GB記録できるタイプがあります。一度だけ書き込みが可能なDVD-R／DVD+R、書き換えが可能なDVD-RW／DVD+RWやDVD-RAMなどがあります。

JPEG(ジェイペグ)

画像を保存するファイル形式の一つ。インターネットやデジカメでは、標準的に使われている形式です。圧縮して保存するため、BMP形式に比べて容量が小さくなるのが最大の特徴です。デメリットは、圧縮するため画質が劣化する点です。

Microsoft Office(マイクロソフトオフィス)

表計算の「Excel」、文書作成(ワープロ)の「Word」、プレゼンテーションの「PowerPoint」など、Microsoft社のビジネス用アプリの総称。または、これらのアプリを一つにまとめたパッケージ製品のことで。

Microsoft(マイクロソフト)**アカウント**

Windows8にサインインするためのアカウントのこと。あるいは、Microsoft社が提供するインターネット上のサービスを利用するためのアカウントのことです。MicrosoftアカウントでWindows8にサインインすると、SkyDriveを利用してインターネット上にファイルを保存したり、Windowsストアから新しいアプリを追加したりできるようになります。

Modern(モダン)

Windows8から導入された、新しい画面デザイン。タッチ操作で快適に扱えるように、ボタンが大きく、機能はシンプルにまとめられているのが特徴です。マウスでの操作も可能です。

OS(オーエス)

パソコンやタブレット本体、接続した周辺機器、アプリを制御して、利用者が操作できるようにするプログラムのこと。もっとも重要なアプリ(ソフト)であることから「基本ソフト」ともいいます。Windows8はこのOSです。

PDF(ピーディーエフ)

どのパソコンやタブレットで見ても、書体やレイアウトが変わらない文書ファイルの形式。製品カタログの配布などでよく利用されます。PDFを見るには、Windows8に標準搭載されているModernのアプリ「リーダー」を利用します。

SkyDrive(スカイドライブ)

Windows8に標準搭載されているModernのアプリです。Microsoft社が提供する同名のインターネットサービスと連携しており、インターネット上にファイルを保存することが可能になっています。データのバックアップなどに利用できます。

SNS(ソーシャルネットワークサービス)

自分の名前やメールアドレスを登録して参加する、インターネット上のコミュニケーションサービスです。友人や共通の趣味を持つ人とメッセージをやり取りしたり、写真を投稿したりできるのが特徴です。大手SNSのFacebookやTwitter、mixiなどには、多くの人が参加しています。

SSID(エスエスアイディ)

無線LANの電波に付ける名前のようなもの。電波と電波を区別し、混信を防ぐための目印となります。

SSL(エスエスエル)

データを暗号化して、第三者が閲覧できないようにするしくみ。ネットショップやネット銀行のホームページでは、個人情報やクレジットカード情報、パスワードを送信するときに利用されます。

URL(ユーアールエル)

インターネットで公開されている情報(ホームページや画像)を指し示す住所のようなもの。ホームページアドレスとして表記される、「http://www.gakken.co.jp/」などの文字列がURLです。

USB(ユーエスピー)

パソコンやタブレットに周辺機器をつなげるときの接続規格の一つ。本体の電源を入れたまま、周辺機器の

取り付けや取り外しができる簡単さが特徴です。現在市販されている周辺機器のほとんどは、USB接続タイプです。

USB(ユーエスピー)メモリ

パソコンやタブレットのUSB端子に差し込んで使う記憶装置。大きさは、100円ライターとほぼ同じなので、データを持ち運ぶのに便利です。

Windows Essentials

(ウィンドウズエッセンシャルズ)

Microsoft社が無料で配布しているデスクトップアプリ集。メール送受信アプリの「Liveメール」、画像管理アプリの「フォトギャラリー」など、便利なアプリがセットになっています。

Windows(ウィンドウズ)ストア

Microsoft社が運営するインターネット上のアプリ配信サービス。Windows8に付属する「ストア」アプリを起動すると、Windowsストアで配信されているアプリが表示され、Windows8に新しいアプリを追加することができます。Modern用のアプリのみ入手できます。ユーザーが受信の操作を実行するまで保存されません。